

Cargèse 2023 School on Subduction Zone Processes に参加して

2023年10月9日から13日までフランス・コルシカ島の Institut des Etudes Scientifiques de Cargèse で行われたサマースクールに参加しました。内容は地質学・地震学・測地学と幅広く、またスローからファストに至るまでの様々な地震現象に関する講演がありました。High rate GPS によるプレート境界のすべり描像の詳細な解明などは興味深く、またシミュレーション研究についても断層のすべり以外の off fault damage の効果や化学反応とのカップリングなど、ここ数年でホットな話題の最先端の研究を聞くことができました。自分のポスター発表では、サマースクール直前に公表した論文についての発表を行い、会場の出口の目の前にポスターを貼ったこともあり、多くの分野の研究者と議論できました。今回のサマースクールでは天然でおきる変形に関して ad hoc な仮定を置いたものもあり、自分の研究である岩石力学研究がをどのようにモデルや議論に組み込んでいくべきかを考える機会にもなりました。またサマースクール前に行われたコルシカ島北部 Cap Corse での巡検にも参加し、ティレニア海・バレアレス海・リグリア海の拡大を起こした背弧拡大に関連する地質帯および深部スロー地震の発生深度に対応するような深度条件を経験した低温高压型の海洋地殻物質及び蛇紋岩を観察しました。アクティブな背弧拡大や沈み込むプレートの切り替わりによる変形センスの逆転など、普段なじみのない地域のテクトニクスは複雑で難しいものですが、日本と比較すると非常によい露出や天候にも恵まれ、沈み込み帯の深部の付加および変形を学ぶことができました。また道中には青色片岩の温度圧力条件から上昇時に流体の反応に駆動された化学平衡による、脈に沿った緑色片岩化なども観察され、岩石流体相互作用にも触れることができました。巡検とサマースクールの1週間は非常に濃密なものであり、とても良い機会となりました。旅費・参加費の補助をくださった SF 地震学のみなさまにお礼申し上げます。

